



細糸PEラインご使用時の注意

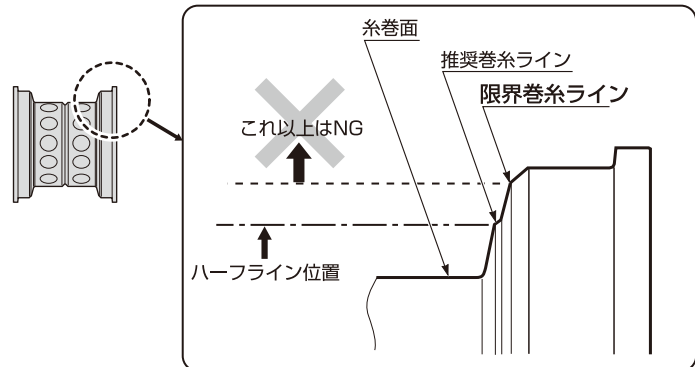
・スプールにテンションをかけすぎないようにご注意ください！

- ・500g以上の強いテンションでラインを巻かないでください。スプール変形の原因になります。また、根掛かりを外す際、リールでの強引な巻取り、スプールを押さえたまま引っ張ってラインを切る動作などはおやめください。
- ・PE専用設計スプールです。PEライン以外のラインは巻かないでください。ラインの伸縮によるスプール変形などのリスクがあります。
- ・PE1号以上のライン、または12g以上のルアーのご使用は、このリールの適正使用条件を大きく超えますのでおやめください。
- ・細糸PEラインを使用する場合、トラブルが発生しやすくなります。フレームとスプールの間（隙間）にラインが噛み込む症状や、巻糸面での上糸と下糸のライン同士での食い込み症状などが発生しやすくなります。そのまま使用を続けると、最悪の場合バックラッシュやルアーの高切れが起こりやすくなります。ラインの噛み込みや食い込みは、必ず直してから次のキャスト動作へ移ってください。マグダイヤルを強めに設定するか、ラインを巻き過ぎないようにするなどあらかじめご注意ください。

1 巻糸量

		限界巻糸量	推奨巻糸量
PE/BRAID	#0.6(0.06mm)	100m(110yds.)	50m(45yds.)
	#0.8(0.10mm)		

※巻糸量は目安であり、メーカー・アイテム・テンションにより異なります。



●巻糸量についての注意

- ・本製品は推奨巻糸量（ハーフライン）で快適性能を発揮するセッティングを施しております。
- ・推奨巻糸量以上のラインを巻く場合は、限界巻糸ラインを超えないように巻いてご使用ください。目安として、**図の限界巻糸ラインを上限**としてください。それ以上の巻糸量を巻いた場合、段差部分にラインが乗り上げた巻き糸状態になるおそれがあります。最悪の場合、フレームとスプールの間（隙間）にラインが噛み込んだりバックラッシュが起こりやすくなります。おやめください。

●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品注文の際はご購入の店舗、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】 9:00~17:00
(土・日・祝祭日は除く)

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

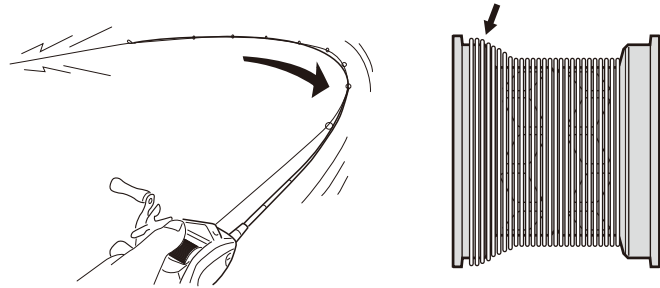
www.daiwa.com/jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

【偏り糸巻状態の注意】

- ・下記図のように、左右いずれかに高負荷を掛け続けた状態でラインを巻き取り続けると、スプール2段目に乗り上げてラインが巻かれる可能性があります。
- ・偏りが発生した場合は、必ずラインを引き出し、巻糸状態を整えてからキャスト動作へ移ってください。



2 キャスト時の注意

- ・スプールレスポンス向上のために、小径BB（MBS：マイクロボールベアリングシステム）を採用しており、キャスト時に若干のノイズが生じることがあります。実使用上の問題はありません。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の安全を確認の上、キャストしたいルアーや仕掛けをサイドキャストで軽く（スムーズな入力で）投げてください。
- ※PEラインキャストのコツは取扱説明書を参照ください。



- ・硬いロッドで鋭いスナップキャストをするとスプールが急速に立ち上がってバックラッシュしやすくなります。
- ・これを抑えるためにブレーキを強くしすぎると、リールのポテンシャルを発揮できなくなります。

3 ブレーキ設定方法

- ・マグネットブレーキの進化により全てのルアーをマグダイヤルのみで制御することが可能です。
- ・“スプールガタゼロ”の調整には“ゼロアジャスター”を使用します。
- ※詳細は、別紙の取扱説明書の「●ブレーキ設定方法」を参照ください。

4 ブレーキ調整時の注意

- ・本製品は推奨巻糸量でのブレーキセッティングを施しております。限界巻糸量で使用する場合は、マグダイヤル目盛りを少し上げて使用されることをお勧めします。
- ※組み合わせるロッドや使用するルアーによってマグダイヤルの目盛りは変わります。

マグダイヤルセッティング例	バックラッシュゾーン	快適ゾーン	セーフティーゾーン
推奨巻糸量時 (PE0.6号-50m)	0~5 (サミング必須)	6~13	14~20
限界巻糸量時 (PE0.6号-100m)	0~6 (サミング必須)	7~13	15~20

- ・ルアーの飛び出し方向とリリースポイントが合ったら、マグダイヤルを1目盛りずつ落としていきます。
- ・必ずマグダイヤルは1目盛りずつ調整するようにしてください。
- ・キャスト後半に軽く糸フケが出る程度までブレーキ力を下げたところから、1~2目盛り戻した状態でセッティング完了です。